令和８年
岩手県教育委員会定例会
10　月

岩　手　県　教　育　委　員　会

令和８年 10 月　岩手県教育委員会定例会議事日程

令和８年 10 月 21 日（水）午後１時 00 分

第 １	会期決定の件		
第 ２	事 務 報 告 １	令和９年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について	（ 学 校 教 育 室 ）
第 ３	事 務 報 告 ２	令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について	（ 学 校 教 育 室 ）
第 ４	事 務 報 告 ３	「岩手県教育委員会カスタマーハラスメント対策ガイドライン」の策定について	（ 服 務 管 理 監 ）
第 ５	議案第 28 号	岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則	（ 学 校 教 育 室 ）
第 ６	議案第 29 号	岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	（ 学 校 教 育 室 ）
第 ７	議案第 30 号	岩手県教育支援委員会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて	（ 学 校 教 育 室 ）
第 ８	議案第 31 号	教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	（ 教 育 企 画 室 ）
第 ９	議案第 32 号	令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	（ 教 職 員 課 ）
第 10	議案第 33 号	学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて	（ 服 務 管 理 監 ）
第 11	議案第 34 号	学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて	（ 服 務 管 理 監 ）

閉会

事務報告１

令和９年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

令和９年度の岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について、別紙のとおり報告します。

令和８年 10 月 21 日

令和９年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について（事務報告）

１　学級設置の基本的な考え方

障がいのある生徒に一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、望ましい成長発達を促すとともに、社会参加と自立を図るため、県立特別支援学校高等部の在籍数及び入学希望見込みの増減等を勘案し、毎年度適正規模に調整するものとする。

２　学級数の増減（通常学級１学級定員８名、重複障がい学級１学級定員３名、訪問教育１学級定員若干名）

（１）高等部

学校名	対象障がい	学科	令和９年度入学予定							
			通常学級				重複障がい学級			
			学級数	募集定員	見込み人数	学級数増減	学級数	募集定員	見込み人数（新１年生のみ）	学級数増減
盛岡視覚	視覚障がい	普通科	１	８	１	０	１	３	１	０
		保健理療科	１	８	０	０	－	－	－	－
盛岡聴覚	聴覚障がい	普通科	１	８	０	０	１	３	１	０
		産業技術科	１	８	１	０	－	－	－	－
盛岡となん	肢体不自由	普通科	１	８	２	０	６	１８	１７	**４**
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	１	**１**
盛岡青松	病　弱	普通科	１	８	２	０	２	６	６	０
盛岡峰南	知的障がい	生活科学科	１	８	３２	０	－	－	－	－
		農産技術科	１	８		０	－	－	－	－
		加工生産科	１	８		０	－	－	－	－
		流通・サービス科	１	８		０	－	－	－	－
盛岡みたけ	知的障がい	普通科	３	２４	２４	０	４※	１２※	５	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
盛岡ひがし	知的障がい	普通科	２	１６	１６	０	７※	２１※	１２	**１**
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０

・※は、１～３学年を通じた学級数・募集定員として示しているものであること。

学校名	対象障がい	学科	令和９年度入学予定							
			通常学級				重複障がい学級			
			学級数	募集定員	見込み人数	学級数増減	学級数	募集定員	見込み人数（新１年生のみ）	学級数増減
花巻清風	知的障がい・肢体不自由	普通科	４	３２	２８	**２**	９※	２７※	１１	**２**
		訪問教育	－	－	－	－	２	若干名	２	０
前沢明峰	知的障がい・肢体不自由	普通科	３	２４	２２	０	７※	２１※	９	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
一関清明	知的障がい肢体不自由病　弱	普通科（病・肢）	１	８	１	０	２※	６※	１	０
		普通科（知的）	３	２４	１７	０	４※	１２※	３	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
		普通科（あすなろ分教室）	－	－	－	－	２	６	４	**１**
気仙光陵	知的障がい・肢体不自由	普通科	２	１６	９	０	１※	３※	０	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
釜石祥雲	知的障がい肢体不自由病　弱	普通科（病・肢）	１	８	０	０	１※	３※	０	０
		普通科（知的）	１	８	６	０	１※	３※	０	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
		普通科（しゃくなげ分教室）	－	－	－	－	１	３	２	０
宮古恵風	知的障がい・肢体不自由	普通科	１	８	７	０	３※	９※	３	**１**
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
久慈拓陽	知的障がい・肢体不自由	普通科	１	８	８	０	２※	６※	３	０
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０
二戸北星	知的障がい・肢体不自由	普通科	１	８	５	０	１※	３※	３	**１**
		訪問教育	－	－	－	－	１	若干名	０	０

・※は、１～３学年を通じた学級数・募集定員として示しているものであること。

（２）専攻科

学校名	対象障がい	学科	令和９年度入学予定			
			学級数	募集定員	見込み人数	学級数増減
盛岡視覚	視覚障がい	保健理療科	1	8	1	1
		理療科	1	8	1	1
盛岡聴覚	聴覚障がい	産業技術科	1	8	1	1

３〈参考〉令和６年度以降の県立特別支援学校高等部学級数・合格者数

	令和９年度		令和８年度		令和７年度		令和６年度	
	募集時学級数	募集定員	学級数(募集時)	合格者数(募集定員)	学級数(募集時)	合格者数(募集定員)	学級数(募集時)	合格者数(募集定員)
通常学級・職業学科	33	264名	28 (40)	159名 (320名)	32 (37)	147名 (296名)	33 (41)	185名 (328名)
重複障がい学級	55	165名	28 (40)	28名 (120名)	41 (39)	61名 (117名)	45 (39)	48名 (117名)
訪問学級	12	若干名	0 (11)	0名 (若干名)	1 (11)	1名 (若干名)	1 (11)	1名 (若干名)
合計	100	429名	56 (91)	187名 (392名)	74 (87)	174名 (365名)	79 (91)	202名 (397名)

・通常学級は、１学級８名定員を基準とする。

・重複障がい学級は、１学級３名定員を基準とする。また、重複障がい学級の学級数及び募集定員は１～３年を通じた数である。

事務報告２

令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について

令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について、別紙のとおり報告します。

令和８年 10 月 21 日

令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜の実施について

Ⅰ　令和９年度岩手県立高等学校第１学年募集定員について

１　令和９年３月中学校・義務教育学校卒業見込者数

令和９年３月卒業見込	令和８年３月卒業見込	増　　減
9,259	9,609	▲350

（学校基本統計速報）

２　募集定員

（１）全日制　8,160 名（昨年比▲200）　58 校（全て本校）

年度＼学科	普通	普通・理数	総合	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	合計
令和９年度	3,720	880	920	0	520	1,240	680	80	120	8,160
令和８年度	3,840	880	920	0	520	1,240	720	80	160	8,360
増　減	▲120	0	0	0	0	0	▲40	0	▲40	▲200

（２）定時制　560 名（昨年と同じ）　　９校（本校７校、分校２校）

年度＼学科	普通	工業	合計
令和９年度	520	40	560
令和８年度	520	40	560
増　減	0	0	0

【備考】

・盛岡市立高等学校を含まない数であること。

・入学者選抜を実施する学校数　61 本分校（58＋９－６＝61 本分校）

全日制	定時制	全日制・定時制併設校
58 校	９校	６校
（全て本校）	（本校７校、分校２校）	（盛岡工業、一関第一、大船渡、釜石、宮古、福岡）

Ⅱ　主な入試日程

入試事務説明会 （中学校、義務教育学校、特別支援学校の校長及び関係職員）		10月28日（水）
入試事務説明会（各県立高等学校）		10月30日（金）
「いわて留学」（県外募集）	検査期日	１月26日（火）
	合格通知（必着）	２月２日（火）
一次募集（定時制成人枠を含む）、連携型、杜陵高校定時制（前期日程）	検査期日	本検査　３月４日（木）、５日（金） 追検査　３月10日（水）、11日（木）
	合格者発表	３月15日（月）
二次募集・杜陵高校定時制（後期日程）	検査期日	３月23日（火）
	合格者発表	３月25日（木）
通信制	検査期日	３月29日（月）
	合格者発表	３月31日（水）

Ⅲ　令和９年度入学者選抜の方法

１　一次募集（一般入学者選抜、特色入学者選抜）

（１）対象学科（学系）

ア　一般入学者選抜

全日制課程及び定時制課程の全学科（学系）において実施する。

イ　特色入学者選抜

全日制課程の全学科（学系）において実施する。定時制課程の全学科（学系）において実施することができる。

（２）応募資格

次の各項のいずれかに該当する者

ア　令和９年３月に中学校等を卒業する見込みの者

イ　中学校等を卒業した者

ウ　学校教育法施行規則第 95 条の規定に該当する者

（３）募集定員

ア　一般入学者選抜

定員からいわて留学及び特色入学者選抜合格者数を減じた数とする。

イ　特色入学者選抜

（ア）各学科（学系）における募集定員は次のとおりとする。

ａ　普通科、普通・理数科、大槌高等学校の地域探究科については、定員の 10％以内とする。
ただし、南昌みらい高等学校の芸術学系及びスポーツ科学学系、花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系については、定員の 50％以内とする。

ｂ　上記ａ以外の学科については、定員の 20％以内とする。

（イ）定員の割合は５％ごととする。

ウ　葛巻高等学校、軽米高等学校の募集定員は、定員から連携型入学者選抜出願者数及びいわて留学合格者数を減じた数を下限とする。ただし、連携型入学者選抜出願者数及びいわて留学合格者数が入学定員を満たしたときは、一次募集を実施しない。

なお、連携型入学者選抜の実施校のうち定員 40 名の学科（学系）については、連携型入学者選抜及びいわて留学、一次募集合格者数の合計は、定員を超えて４名まで可とする。定員 40 名の学科（学系）の一次募集の募集定員は次のとおりとする。

（ア）連携型出願者及びいわて留学合格者数の合計が 44 名以上の場合、一次募集の定員は０名となり、一次募集を行わない。

（イ）連携型出願者及びいわて留学合格者数の合計が 43 名以下の場合、一次募集の定員は 44 名から連携型入学者選抜出願者数及びいわて留学合格者数を減じた数を下限とする。

エ　一関第一高等学校（全日制課程）の募集定員は、定員から一関第一高等学校附属中学校からの入学決定者数を減じた数とする。

オ　いわて留学の実施学科（学系）のうち定員 40 名の学科（学系）については、いわて留学及び一次募集合格者数の合計は、定員を超えて４名まで可（いわて留学合格者数が４名未満の場合は、定員を超えていわて留学合格者数まで可）とすることから、一次募集の募集定員は次のとおりとする。

（ア）いわて留学合格者数が４名以下の場合は、40 名とする。

（イ）いわて留学合格者数が５名以上の場合は、44 名からいわて留学合格者数を減じた数とする。

（４）通学区域

ア　一般入学者選抜

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則による。

また、東日本大震災津波の被災により、出願すべき高等学校以外の高等学校に出願する場合の取扱は、岩手県立高等学校の通学区域に関する規則第４条第５号によるものとする。

イ　特色入学者選抜

学区の制限を受けない。

（５）出願制限

ア　出願は、本校又は分校１校に限る。

（ア）一般入学者選抜

a　志願先高等学校に２つの課程（全日制、定時制）、２つ以上の学科（学系）がある場合、第２、第３志望まで出願できる。
ただし、異なる学校独自検査を実施する課程、学科（学系）への出願は、２つまでとする。

b　多部制の定時制課程においては、第２志望まで出願できる。

（イ）特色入学者選抜

一般入学者選抜において第１志望で出願する学校・学科（学系）にのみ出願できる（特色入学者選抜のみに出願できない）。

イ　連携型入学者選抜と併願できない。

ウ　一関第一高等学校附属中学校から一関第一高等学校（全日制課程）の入学決定通知書の交付を受けた者は出願できない。

エ　他の公立高等学校入学者選抜と併願できない。

（６）検査内容

ア　一般入学者選抜

（ア）学力検査（国語、数学、社会、英語、理科の５教科）

《出題方針》

中学校学習指導要領に示されている各教科の目標や内容に則し、基礎的・基本的な知識及び技能や、これらを活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を検査できるようにする。

（イ）調査書

（ウ）学科（学系）によっては、学校独自検査として、面接、小論文、作文、実技のうち１～２項目を実施する。
異なる学校独自検査を実施する課程、学科（学系）については、志望の順位にかかわらず、その学校独自検査を実施する。
ただし、課程又は学科（学系）の第１志望の志願者が定員の１．10 倍以上の場合には、第２、第３志望の志願者に対し、学校独自検査を実施せず、選抜対象としない。

イ　特色入学者選抜

（ア）調査書

（イ）志願理由書

（ウ）学科（学系）によって、面接、小論文、作文、実技、口頭試問、プレゼンテーション等のうち１～２項目の検査を実施する。

（７）日程

ア　第１日目

（ア）一般入学者選抜の学力検査

a　集合時刻　８：30

b　学力検査　９：10～14：55（各教科 50 分）

（イ）学科（学系）によっては、学力検査終了後に、一般入学者選抜の学校独自検査、特色入学者選抜の検査を実施する。

イ　第２日目

学科（学系）によっては、一般入学者選抜の学校独自検査、特色入学者選抜の検査を実施する。

（８）一般入学者選抜における各検査の配点

<table>
<tr><td>学力検査（５教科各 100 点満点）</td><td>500 点</td><td rowspan="2">1000 点</td><td rowspan="3">1000～1100 点</td></tr>
<tr><td>調査書（９教科の１・２・３年の評定）</td><td>500 点</td></tr>
<tr><td>学校独自検査</td><td colspan="2">0～100 点</td></tr>
</table>

（９）追検査

ア　対象者

次の各項のいずれかに該当する者で、３月４日（木）、５日（金）に実施する検査（以下「本検査」という。）を受検できない者

（ア）新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、月経随伴症状等により、本検査を受検できない者

（イ）当日の不慮の事態など、その他真にやむを得ない事情により本検査を受検できない者

イ　検査内容

本検査と同じとする。ただし、検査問題は追検査用に用意したもので行う。

(10) 選抜方法

ア　選抜は、特色入学者選抜、一般入学者選抜の順に行う。

なお、本検査と追検査の成績は同等に扱い、本検査を受検した者と追検査を受検した者を一括して選抜する。

イ　特色入学者選抜

（ア）選抜は、各学科（学系）の特色に配慮しながら、その教育において必要とされる資質・能力や適性等を総合的に判定して行う。

（イ）志願者が多い場合には、調査書及び志願理由書により一次選考を行うことができる。

ウ　一般入学者選抜

（ア）「学力検査の成績」と「調査書の学習の記録」の比率は、７：３、６：４、５：５、４：６、３：７のいずれかとする。

（イ）選抜は、各学科（学系）の特色に配慮しながら、その教育において必要とされる資質・能力や適性等を総合的に判定して行う。

(11) 合格者の発表

令和９年３月 15 日（月）午後３時に、各志願先高等学校（本校又は分校）及び合格者発表用ウェブサイトにおいて、受検番号により発表する。

(12) 合格者の通知

高等学校長は、合格発表後速やかに、選考結果通知書（中学校長あて）及び合格通知書（合格者あて）を各中学校に送付する。

(13) 検査成績の通知

ア　通知する内容

一般入学者選抜の学力検査の教科別得点及び合計点、調査書の換算合計点、学校独自検査の得点

イ　通知の方法

志願先高等学校から中学校に成績通知書を選考結果通知書及び合格通知書の送付とあわせて送付する。

受検者は中学校において成績通知書を受け取る（中学校での受け取りができない者については、受検者に送付する）。

(14) その他

各学科（学系）の募集定員、検査内容、２日目の実施の有無、選抜方法は実施概要一覧表のとおり。

２　一次募集（定時制課程成人枠）

（１）対象学科

定時制課程の全学科

（２）応募資格

平成 18 年４月１日までに生まれた者で、次の各項のいずれかに該当する者

ア　中学校等を卒業した者

イ　学校教育法施行規則第 95 条の規定に該当する者

（３）募集人数

若干名

（４）検査内容

ア　面接、小論文又は作文

イ　学校によっては、適性検査を実施する。

３　二次募集

（１）二次募集を行う学科（学系）

欠員が、定員の 10％以上である学科（学系）で実施する。ただし、欠員が定員の 10％未満であっても、学校の判断で実施することができる。

なお、杜陵高等学校は二次募集を行わない。

（２）応募資格

ア　一次募集（定時制課程成人枠含む）、連携型入学者選抜又は盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検し、合格しなかった者

イ　やむを得ない事情で、一次募集（定時制課程成人枠含む）、連携型入学者選抜または盛岡市立高等学校一般入学者選抜を受検しなかった者

（３）検査内容

調査書、面接、小論文又は作文

４　連携型入学者選抜（葛巻高等学校、軽米高等学校）

（１）応募資格

令和９年３月に連携型中学校（葛巻高等学校においては葛巻町立葛巻中学校、葛巻町立小屋瀬中学校、葛巻町立江刈中学校をいう。軽米高等学校においては軽米町立軽米中学校をいう。）を卒業する見込みの者

（２）募集定員

葛巻高等学校及び軽米高等学校の定員を上限とする。

（３）選抜方法

国語、数学、社会、英語、理科の５教科に関する基礎学力を確認の上、連携型中学校長から提出された調査書及び面接の結果に基づき合格者を決定

する。
なお、基礎学力の確認は、一般入学者選抜学力検査で使用する検査問題と同じ問題で実施する。

５　一関第一高等学校附属中学校（併設型中高一貫教育校）からの入学

（１）入学願の提出

ア　令和９年３月に一関第一高等学校附属中学校を卒業する見込みの者は、入学願を中学校長に提出する。
なお、入学願を提出した者については、入学者選抜を実施しない。
ただし、特別な事情により一関第一高等学校（全日制課程）への入学を希望しない場合は、入学辞退届を中学校長に提出する。入学辞退届を提出した者は、原則として、当該年度の一関第一高等学校（全日制課程）の入学者選抜に出願できない。

イ　中学校長は、入学願を一関第一高等学校長に提出する。

（２）入学者の決定

ア　一関第一高等学校長は、入学願を提出した者について入学を決定する。

イ　入学決定通知書の交付を受けた者は、一次募集（一般入学者選抜、特色入学者選抜）及び盛岡市立高等学校に出願できない。

６　杜陵高等学校定時制課程入学者選抜

（１）前期日程

ア　一次募集（一般入学者選抜、特色入学者選抜）による。

イ　募集定員
本校 100 名（１・２部 80 名、３部 20 名）、奥州校 60 名（昼間部 30 名、夜間部 30 名）

（２）前期日程成人枠
一次募集（定時制課程成人枠）による。

（３）後期日程

ア　募集定員
本校 60 名（１・２部 40 名、３部 20 名）、奥州校 20 名（昼間部 10 名、夜間部 10 名）

イ　検査内容
調査書、面接、作文

（４）後期日程（チャレンジ枠）

ア　応募資格
次の各項のいずれかに該当する者で、中学校において出席状況等に事情があり、高等学校での学習に意欲がある者

（ア）令和９年３月に中学校等を卒業する見込みの者

（イ）中学校等を卒業した者

（ウ）学校教育法施行規則第 95 条の規定に該当する者

イ　募集定員（後期日程の募集定員（上記（３））内に設ける。）
本校 12 名（１・２部８名、３部４名）、奥州校５名（昼間部３名、夜間部２名）
ウ　検査内容
面接、作文（調査書は、検査内容としない。）

７　通信制課程入学者選抜

（１）募集定員
杜陵高等学校（本校・奥州校）220 名、宮古高等学校 80 名
（２）選考方法
提出された書類、面接及び作文によって行う。

８　いわて留学（県外募集）

（１）実施方針
ア　対象校
いわて留学は、次の各項のいずれかに該当する学校において実施する。
（ア）地域ふるさと振興校
次の各項のすべてに該当する全日制及び定時制課程の学科（学系）において、県教育委員会と高等学校が協議した上で実施する。
ａ　学校と地域が連携する体制が整っている学科（学系）
ｂ　入学後の居住環境について紹介できる体制が整っている学科（学系）
ｃ　県内生徒の学ぶ機会を妨げないと考えられる学科（学系）
（イ）留学実施校
地元自治体等が生徒の生活環境を保障する学校において、募集方法等について県教育委員会と地元自治体等が協議の上で実施する。
（ウ）特色教育課程校
全国的にも特色のある教育課程の学科において、県教育委員会と高等学校が協議した上で実施する。
イ　特定の部活動への参加を条件とする募集は行わない。
（２）応募資格
次の各項のいずれかに該当する県外に居住する者で、当該高等学校に合格した場合、入学を確約できる者
ア　令和９年３月に中学校等を卒業する見込みの者
イ　中学校等を卒業した者
ウ　学校教育法施行規則第 95 条の規定に該当する者
（３）実施学科（学系）
ア　地域ふるさと振興校

募集定員は、県内生徒の学ぶ機会の確保に配慮した上で、定員の20%以内、かつ、各高等学校が入学後の居住環境を紹介できる数とする。

学校名	学科名（定員）	募集定員
盛岡工業	工業化学科（40名）	８名
沼宮内	普通科（40名）	８名
平　舘	普通科（40名）	４名
遠　野	普通科（120名）	６名
遠野緑峰	生産技術科（40名）	２名
黒沢尻工業	機械科、電気科、電子科、電子機械科、土木科、半導体工学科（各40名）	12名（ただし、各科４名以内）
水沢農業	農業科学科、食品科学科（各40名）	４名（ただし、各科４名以内）
前　沢	普通科（40名）	４名
大　東	普通科、情報ビジネス科（各40名）	２名（ただし、各科２名以内）
住　田	普通科（40名）	２名
宮古商工	機械システム科、電気システム科、総合ビジネス科、流通ビジネス科、情報ビジネス科（各40名）	６名（ただし、各科４名以内）
宮古水産	海洋生産科（40名）	４名
	食物科（40名）	４名
岩　泉	普通科（80名）	４名

イ　留学実施校

募集定員は、県内生徒の学ぶ機会の確保に配慮した上で、定員内において、各地元自治体等と協議し、定める。

学校名	学科名（定員）	募集定員	対象者
葛　巻	普通科（80名）	12名	「くずまき山村留学生」の候補者として志願する者
大　迫	普通科（40名）	４名	「高校生おおはさま留学生」の候補者として志願する者
西和賀	普通科（80名）	８名	「西和賀ふるさと留学生」の候補者として志願する者
大　槌	地域探究科（80名）	６名	「大槌はま留学生」の候補者として志願する者

ウ　特色教育課程校

募集定員は、県内生徒の学ぶ機会の確保に配慮した上で、定員内において、定める。

学校名	学科名（定員）	募集定員	対象者
種　市	海洋開発科（40 名）	７名	県外から志願する者

（４）検査内容

ア　調査書

イ　志願理由書

ウ　学科（学系）によって、面接、小論文、作文、実技、口頭試問、プレゼンテーション等のうち１～２項目の検査を実施する。

（５）その他

定員 40 名の学科（学系）においては、いわて留学及び一次募集合格者数の合計は、定員を超えて４名まで可（いわて留学合格者数が４名未満の場合は、定員を超えていわて留学合格者数まで可）とする。

令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要一覧表

※　各学科（学系）の検査内容、選抜方法等の詳細については、「令和９年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要」（別冊）に示す。

○　全日制

学校番号	学校名	学科名	学系	定員	一次募集								二次募集	いわて留学			備考
					特色入学者選抜					一般入学者選抜		2日目の実施					
					実施の有無	募集定員 %	募集定員 人	検査内容・選抜方法（配点）	一次選考 ※1	学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点（傾斜配点を含む））		検査内容・選抜方法（配点）	実施の有無	区分 ※2	募集定員	
1	盛岡第一	普通・理数		280	有	10	28	調査書（100）、志願理由書（100）、プレゼンテーション（200）	3倍	7：3	学力検査（700）、調査書（300）	有	調査書（135）、面接（65）、作文（100）	無			くくり募集
2	盛岡第二	普通		200	有	5	10	調査書（120）、志願理由書（20）、面接（60）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（270）、面接（50）、作文（50）	無			
3	盛岡第三	普通		280	有	5	14	調査書（100）、志願理由書（30）、数学の口頭試問（80）、面接（90）	2倍	7：3	学力検査（700）、調査書（300）	有	調査書（100）、面接（100）、小論文（100）	無			
4	盛岡第四	普通		240	有	5	12	調査書（100）、志願理由書（100）、プレゼンテーション・面接（100）	2倍	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
5	盛岡北	普通		200	有	5	10	調査書（100）、志願理由書（100）プレゼンテーション（100）	3倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、小論文（50）	無			
6	南昌みらい	普通	文理	160	有	5	8	調査書（30）、志願理由書（20）、小論文(50)、面接（50）	2倍	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	有	調査書（270）、面接（50）、作文（80）	無			
			芸術	40	有	20	8	（音楽コース）調査書（60）、志願理由書（30）、実技（80）、面接（20）（美術工芸コース）調査書（60）、志願理由書（30）、実技（60）、プレゼンテーション・面接（40）	3倍	6：4	学力検査(600)、調査書(400)、実技(100)	有	調査書（270）、面接（50）、作文（80）、適性検査（100）	無			
			外国語	40	有	10	4	調査書(50)、志願理由書(30)、口頭試問(100)	2倍	6：4	学力検査(英語2倍)(600)、調査書(400)	有	調査書（270）、面接（50）、作文（80）	無			
			スポーツ科学	80	有	50	40	調査書（60）、志願理由書（60）、実技（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、実技(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（60）、適性検査（100）	無			
8	盛岡農業	動物科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		植物科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		食品科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		人間科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		環境科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
9	盛岡工業	機械		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電気		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電子情報		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電子機械		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		工業化学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	8	
		土木		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		建築・デザイン		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（200）	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
10	盛岡商業	流通ビジネス		80	有	15	12	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
		会計ビジネス		80	有	15	12	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
		情報ビジネス		80	有	15	12	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
11	沼宮内	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	8	
12	葛巻	普通		80	有	10	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	有	留学	12	※3
13	平舘	普通		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	有	地域	4	
14	雫石	普通		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
15	紫波総合	総合		120	有	5	6	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			

学校番号	学校名	学科名	学系	定員	一次募集							二次募集	いわて留学			備考
					特色入学者選抜				一般入学者選抜		2日目の実施					
					実施の有無	募集定員 %	募集定員 人	検査内容・選抜方法（配点）	一次選考 ※1	学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点（傾斜配点を含む））		検査内容・選抜方法（配点）	実施の有無	区分 ※2	募集定員	
16	花巻北	普通		240	有	5	12	調査書（150）、志願理由書（50）、プレゼンテーション（100）	3倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（270）、面接（80）、作文（50）	無			
17	花巻南	普通	人文・自然科学	120	有	10	12	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
			スポーツ健康科学	40	有	50	20	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、実技（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
			国際科学	40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、口頭試問（100）	無	5：5	学力検査（英語2倍）（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	無			
18	花巻農業	生物科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		環境科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		食農科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
19	花北青雲	情報工学		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（100）	無			
		ビジネス情報		80	有	10	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（100）	無			
		総合生活		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（100）	無			
20	大迫	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、作文（100）	無	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	有	留学	4	
21	遠野	普通		120	有	10	12	調査書（50）、志願理由書（40）、面接（60）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（50）、作文（50）	有	地域	6	
22	遠野緑峰	生産技術		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	有	地域	2	
23	黒沢尻北	普通		240	有	5	12	調査書（100）、志願理由書（50）、プレゼンテーション・面接（150）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（70）、作文（30）	無			
24	北上翔南	総合		160	有	5	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	2倍	4：6	学力検査（400）、調査書（600）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
25	黒沢尻工業	機械		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	12	
		電気		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		電子		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		電子機械		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		半導体工学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		土木		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
26	西和賀	普通		80	有	10	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（70）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（200）、面接（70）、作文（80）	有	留学	8	
27	水沢	普通・理数		240	有	5	12	調査書（250）、志願理由書（50）、口頭試問（200）	2倍	7：3	学力検査（700）、調査書（300）	有	調査書（100）、面接（100）、小論文（100）	無			くくり募集
28	水沢農業	農業科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（40）、作文（60）、面接（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	4	
		食品科学		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（40）、作文（60）、面接（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
29	水沢工業	機械		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
		電気		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
		設備システム		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
		インテリア		40	有	20	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
30	水沢商業	商業		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、プレゼンテーション（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		会計ビジネス		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、プレゼンテーション（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		情報システム		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、プレゼンテーション（100）	無	6：4	学力検査（600）、調査書（400）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
31	前沢	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（50）	3倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（270）、面接（70）、作文（60）	有	地域	4	
32	金ケ崎	普通		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、プレゼンテーション（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
33	岩谷堂	総合		120	有	15	18	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			

学校番号	学校名	学科名	学系	定員	一次募集								二次募集	いわて留学			備考
					特色入学者選抜					一般入学者選抜		2日目の実施		実施の有無	区分※2	募集定員	
					実施の有無	募集定員 %	募集定員 人	検査内容・選抜方法（配点）	一次選考※1	学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点（傾斜配点を含む））						
34	一関第一	普通・理数		200	有	5	10	調査書（75）、志願理由書（25）、プレゼンテーション（200）	2倍	7：3	学力検査（700）、調査書（300）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			くくり募集※4
35	一関第二	総合		200	有	5	10	調査書（50）、志願理由書（50）、スピーチ（50）	3倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
36	一関工業	電気電子		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電子機械		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		土木		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
37	花泉	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（40）、面接（60）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（60）、面接（60）、作文（60）	無			
38	大東	普通		40	有	10	4	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	2	
		情報ビジネス		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
39	千厩	普通		80	有	10	8	調査書（90）、志願理由書（90）、面接（120）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
		生産技術		40	有	10	4	調査書（90）、志願理由書（90）、面接（120）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
		産業技術		40	有	10	4	調査書（90）、志願理由書（90）、面接（120）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（135）、面接（100）、作文（65）	無			
40	高田	普通		120	有	10	12	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
		海洋システム		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
41	大船渡	普通		160	有	5	8	調査書（75）、志願理由書（25）、プレゼンテーション（200）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（270）、面接（30）、作文（100）	無			
42	大船渡東	農芸科学		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（50）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		機械電気		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（50）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		情報処理		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（50）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		食物文化		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（50）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
43	住田	普通		40	有	10	4	調査書（20）、志願理由書（20）、自己表現検査（40）、面接（20）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（150）、面接（150）、作文（100）	有	地域	2	
44	釜石	普通・理数		160	有	5	8	調査書（100）、志願理由書（50）、口頭試問（200）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（270）、面接（75）、作文（75）	無			くくり募集
45	釜石商工	機械		40	有	5	2	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	無	7：3	学力検査（700）、調査書（300）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電気電子		40	有	5	2	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	無	7：3	学力検査（700）、調査書（300）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		総合情報		40	有	5	2	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	無	7：3	学力検査（700）、調査書（300）、面接（100）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
46	大槌	地域探究		80	有	5	4	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	留学	6	
47	山田	普通		40	有	5	2	調査書（100）、志願理由書（30）、プレゼンテーション（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
48	宮古	普通		160	有	5	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（270）、面接（50）、作文（80）	無			
49	宮古北	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（20）、面接（40）、口頭試問（40）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（200）、作文（100）	無			
50	宮古商工	機械システム		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（80）、面接（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	6	
		電気システム		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（80）、面接（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		総合ビジネス		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（80）、面接（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		流通ビジネス		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（80）、面接（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
		情報ビジネス		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（80）、面接（120）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域		
51	宮古水産	海洋生産		40	有	10	4	調査書（60）、志願理由書（60）、プレゼンテーション（80）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	4	
		食物		40	有	10	4	調査書（60）、志願理由書（60）、プレゼンテーション（80）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	有	地域	4	
52	岩泉	普通		80	有	10	8	調査書（100）、志願理由書（50）、作文（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（90）、面接（160）、作文（50）	有	地域	4	
53	久慈	普通		160	有	10	16	調査書（100）、志願理由書（20）、プレゼンテーション（80）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（150）、面接（100）、作文（50）	無			

学校番号	学校名	学科名	学系	定員	一次募集							二次募集	いわて留学			備考
					特色入学者選抜					一般入学者選抜						
					実施の有無	募集定員 %	募集定員 人	検査内容・選抜方法（配点）	一次選考 ※1	学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点（傾斜配点を含む））	2日目の実施	検査内容・選抜方法（配点）	実施の有無	区分 ※2	募集定員	
54	久慈翔北	工業		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（90）、面接（50）、作文（60）	無			
		総合		200	有	10	20	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	無	調査書（90）、面接（50）、作文（60）	無			
55	種市	普通		40	有	10	4	調査書（135）、志願理由書（35）、面接（130）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（180）、面接（60）、作文（60）	無			
		海洋開発		40	有	10	4	調査書（135）、志願理由書（35）、面接（130）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（180）、面接（60）、作文（60）	有	特色	7	
57	軽米	普通		40	有	10	4	調査書（100）、志願理由書（50）、作文（100）、面接（100）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（30）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			※3
58	伊保内	普通		40	有	5	2	調査書（50）、志願理由書（50）、プレゼンテーション・面接（100）	3倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（50）、面接（50）、作文（50）	無			
59	福岡	普通		120	有	10	12	調査書（270）、志願理由書（80）、作文（50）	2倍	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（270）、面接（50）、作文（80）	無			
60	北桜	機械システム		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		電気情報システム		40	有	20	8	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			
		総合		120	有	20	24	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	有	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無			

○ 定時制

学校番号	学校名	学科名	部	定員	前期日程						後期日程			いわて留学実施の有無	備考
					募集定員	特色入学者選抜実施の有無	一般入学者選抜（1日目）		成人枠（2日目）		募集定員		検査内容・選抜方法（配点）		
							学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点）	検査内容・選抜方法（配点）			チャレンジ枠			
7-1	杜陵	普通	1・2部	120	80	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	面接（60）、作文（40）		40	8	調査書（100）、面接（100）、作文（100）（チャレンジ枠は、面接（100）、作文（100））	無	※5
			3部	40	20	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	面接（60）、作文（40）		20	4	調査書（100）、面接（100）、作文（100）（チャレンジ枠は、面接（100）、作文（100））	無	
7-3	杜陵奥州	普通	昼間部	40	30	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	面接（60）、作文（40）		10	3	調査書（100）、面接（100）、作文（100）（チャレンジ枠は、面接（100）、作文（100））	無	※5
			夜間部	40	30	無	5：5	学力検査(500)、調査書(500)、面接(100)	面接（60）、作文（40）		10	2	調査書（100）、面接（100）、作文（100）（チャレンジ枠は、面接（100）、作文（100））	無	

学校番号	学校名	学科名	部	定員	一次募集				二次募集	いわて留学実施の有無	備考
					特色入学者選抜実施の有無	一般入学者選抜（1日目）		成人枠（2日目）	検査内容・選抜方法（配点）		
						学力検査：調査書	検査内容・選抜方法（配点）	検査内容・選抜方法（配点）			
9-2	盛岡工業	工業		40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	面接（50）、作文（50）	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無	
34-2	一関第一	普通		40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	面接（100）、作文（100）	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無	
41-2	大船渡	普通		40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	面接（100）、作文（50）	調査書（50）、面接（150）、作文（100）	無	
44-2	釜石	普通		40	無	7：3	学力検査（700）、調査書（300）、面接（100）	面接（100）、作文（50）	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無	
48-2	宮古	普通		40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）、面接（100）	面接（100）、作文（100）	調査書（50）、面接（150）、作文（100）	無	
53-2	久慈長内	普通	昼間部	40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	面接（100）、作文（50）	調査書（150）、面接（100）、作文（50）	無	
			夜間部	40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	面接（100）、作文（50）	調査書（150）、面接（100）、作文（50）	無	
59-2	福岡	普通		40	無	5：5	学力検査（500）、調査書（500）	面接（100）、作文（100）	調査書（100）、面接（100）、作文（100）	無	

【注】この表中の定員は、「岩手県立高等学校の管理運営に関する規則」第３条第２項の規定により、志願者数（調整後）によっては、減ずることがある。

※1　「特色入学者選抜」の「一次選考」について、「2倍」は2倍を超えた場合に実施する場合があること、「3倍」は3倍を超えた場合に実施する場合があること、「無」は実施しないことを示す。

※2　「いわて留学」の「区分」について、「地域」は地域ふるさと振興校、「留学」は留学実施校、「特色」は特色教育課程校を示す。なお、いわて留学実施学科（学系）のうち定員40名の学科（学系）については、いわて留学及び一次募集合格者の合計は、定員を超えて４名まで可とする。

※3　定員には、連携型入学者選抜合格者数を含む。ただし、定員40名の学科については、定員を超えて４名まで可とする。連携型入学者選抜の配点は、葛巻高校が調査書（500）、面接（50）、軽米高校が調査書（500）、面接（30）である。

※4　定員には、一関第一高等学校附属中学校からの入学決定者数を含む。学区外最大入学者数は36名とする。

※5　前期日程において欠員がある部については、欠員の数を後期日程の募集定員に加える。後期日程（チャレンジ枠）の募集定員は、後期日程の募集定員内に設ける。

○ 「いわて留学」（県外募集）

※ 各学科（学系）の検査内容、選抜方法等の詳細については、「令和９年度「いわて留学」概要」（別冊）に示す。

地域ふるさと振興校

学校番号	学校名	学科名	募集定員	検査内容・選抜方法（配点）
9	盛岡工業	工業化学	8	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（100）
11	沼宮内	普通	8	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（100）
13	平舘	普通	4	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）
21	遠野	普通	6	調査書（50）、志願理由書（30）、作文（60）、面接（60）
22	遠野緑峰	生産技術	2	調査書（180）、志願理由書（60）、面接（60）
25	黒沢尻工業	機械	12 （ただし、各科４名以内）	調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
		電気		調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
		電子		調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
		電子機械		調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
		半導体工学		調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
		土木		調査書（100）、志願理由書（50）、面接（150）
28	水沢農業	農業科学	4 （ただし、各科４名以内）	調査書（100）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（100）
		食品科学		調査書（100）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（100）
31	前沢	普通	4	調査書（45）、志願理由書（45）、面接（60）
38	大東	普通	2 （ただし、各科２名以内）	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）
		情報ビジネス		調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）
43	住田	普通	2	調査書（150）、志願理由書（30）、面接（120）、作文（100）
50	宮古商工	機械システム	6 （ただし、各科４名以内）	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）
		電気システム		調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）
		総合ビジネス		調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）
		流通ビジネス		調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）
		情報ビジネス		調査書（100）、志願理由書（100）、面接（100）、作文（100）
51	宮古水産	海洋生産	4	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）
		食物	4	調査書（50）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）
52	岩泉	普通	4	調査書（90）、志願理由書及び面接（160）、作文（50）

留学実施校

学校番号	学校名	学科名	募集定員	検査内容・選抜方法（配点）	対象者
12	葛巻	普通	12	調査書（50）、志願理由書（50）、面接（50）	「くずまき山村留学生」の候補者として志願する者
20	大迫	普通	4	調査書（100）、志願理由書（100）、作文（100）	「高校生おおはさま留学生」の候補者として志願する者
26	西和賀	普通	8	調査書（100）、志願理由書（100）、面接（70）、作文（80）	「西和賀ふるさと留学生」の候補者として志願する者
46	大槌	地域探究	6	調査書（150）、志願理由書（50）、作文（50）、面接（50）	「大槌はま留学生」の候補者として志願する者

特色教育課程校

学校番号	学校名	学科名	募集定員	検査内容・選抜方法（配点）	対象者
55	種市	海洋開発	7	調査書（135）、志願理由書（35）、面接(130)	県外から志願する者

事務報告３

「岩手県教育委員会カスタマーハラスメント対策ガイドライン」の策定について

このことについて、別紙のとおり報告いたします。

令和８年 10 月 21 日

〔別紙〕

1　ガイドライン策定の背景等について

○　いわゆるカスタマーハラスメント対策等について、昨年６月に公布された「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律」（令和７年法律第 63 号。以下「改正法」という。）により、令和８年 10 月１日に施行されるカスタマーハラスメント対策に係る雇用管理上の措置義務等を踏まえ、県立学校教職員及び県教育委員会事務局職員の事業主として、カスタマーハラスメントにより教職員等の就業環境が害されることを防止するため、先般、「カスタマーハラスメント対策ガイドライン」を策定したこと。

2　改正法に基づき事業主が講ずべき措置（義務）について

⑴　事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発
⑵　相談体制の整備
⑶　事後の迅速かつ適切な対応
⑷　対応の実効性を確保するために必要なカスハラの抑止のための措置
⑸　そのほか併せて講ずべき措置

ア　相談者等のプライバシーを保護するために必要な措置を講じ、労働者に周知する。
イ　相談したこと等を理由として不利益な取扱いをされない旨を定め、労働者に周知・啓発する。

3　ガイドラインの策定について

・　令和８年９月 29 日付けで、学校等の教育機関、県教委事務局内各所属に通知済
・　概要は別添のとおり。

4　県立学校に対するサポート（「手引き」の作成）について

県立学校については、学校現場の実態に即したより具体的な対応方法の整理が必要と考えられることから、国の通知や他県の例も参考に、ガイドラインを補完するための「手引き」を今後作成し、提供する予定である。

〔別添〕

岩手県教育委員会カスタマーハラスメント対策ガイドライン（概要）

１　はじめに

県立学校等の教育機関及び県教育委員会事務局（以下「教育機関等」という。）に対するクレームや苦情は、場合によっては、教育機関等における教育活動及び教育行政等（以下「教育・行政サービス」という。）の改善につながるものであり、それ自体が問題となるものではありません。

一方で、過剰な要求や不当な言いがかりなどにより、教職員等が対応に追われ、教育・行政サービスの提供に支障を来す事案も発生しています。

こうしたことを踏まえ、教職員等がより児童生徒を中心に捉えた教育・行政サービスを提供できるよう、「岩手県教育委員会カスタマーハラスメント対策ガイドライン」を策定しました。

２　基本方針

わたしたち教職員等は、常に児童生徒の視点に立ち、児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、希望ある岩手を創造する「生きる力」の育成を念頭に行動し、より質の高い児童生徒本位の教育・行政サービスを提供します。

一方で、教育・行政サービスの利用者等（以下「相手方」という。）からの言動の中には、社会通念上許容される範囲を超えた言動により、教職員等に身体的・精神的苦痛を与えるものがあり、職場環境の悪化や教育・行政サービスの低下につながる問題があります。

県教育委員会では、相手方に誠意をもって対応しつつも、教職員等を守るため、これらの行為には毅然と対応します。

教職員等がこうした行為を受けた際は、所属内で共有し、所属長に報告の上、組織として対応します。

３　対応原則

教職員等は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務していることを意識し、要望や意見等には真摯に耳を傾け、丁寧な説明に努める必要があります。

また、相手方の言動に過度に反応し、安易にカスタマーハラスメントと判断することのないよう注意しなければなりません。

教育・行政サービスの多くは、法令に基づく公的な役割として実施されており、民間サービスのように自由に提供の可否を判断できるものではありません。そのため、相手方への影響を十分に考慮しながら、適切に対応する必要があります。

４　カスタマーハラスメントとは

(1)　カスタマーハラスメントの定義

次の３つの要素を全て満たすものをいいます。

①　教育・行政サービス利用者等からの言動であること

②　社会通念上許容される範囲を超えた言動であること

③　教職員等の就業環境が害されること

(2)　判断基準

相手方からの意見や苦情等がカスタマーハラスメントに該当するかは、次の観点から判断します。

ア　要求内容に妥当性があるか

イ　要求を実現するための手段・態様が社会通念上許容される範囲か

【カスタマーハラスメントの類型】

① 要求内容が妥当性を欠く場合

・　*教職員等の対応や教育行政サービスに瑕疵や過失が認められない場合*　・　*要求内容が教育行政サービスと関係がない場合*

② 社会通念上許容される範囲を超える言動

◇　要求内容の妥当性にかかわらず、許容される範囲を超える可能性が高いもの

・　*身体的な攻撃（暴行、傷害等）*　・　*精神的な攻撃（脅迫、誹謗中傷、侮辱、暴言等）*　・　*威圧的な言動*
・　*土下座の強要*　・　*継続的・執拗な言動*　・　*拘束的な行動（居座り、不退去等）*　・　*差別的な言動*　・　*性的な言動*
・　*教職員等個人への攻撃や要求*

◇　要求内容の妥当性にかかわらず、許容される範囲を超える場合があるもの

・　*金銭等の補償要求*　・　*謝罪の要求（土下座を除く）*

議案第28号

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第３号）の一部を次のように改正する。

改正前

別表第１　高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第３条関係）

学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程	
		学科名	学級数	学科名	学級数	学科名	学級数
［略］							
岩手県立南昌みらい高等学校		普通科 体育科	26 1	［略］			
［略］							
岩手県立平舘高等学校		［略］ 家政科学科	［略］ 3	［略］			
［略］							
岩手県立北上翔南高等学校		総合学科	13	［略］			
岩手県立黒沢尻工業高等学校		［略］ 電子機械科 土木科 材料技術科	［略］ 3 3 3	［略］			
岩手県立西和賀高等学校		普通科	5	［略］			
［略］							
岩手県立金ケ崎高等学校		普通科	5	［略］			

改正後

別表第１　高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第３条関係）

学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程	
		学科名	学級数	学科名	学級数	学科名	学級数
［略］							
岩手県立南昌みらい高等学校		普通科	24	［略］			
［略］							
岩手県立平舘高等学校		［略］ 家政科学科	［略］ 2	［略］			
［略］							
岩手県立北上翔南高等学校		総合学科	12	［略］			
岩手県立黒沢尻工業高等学校		［略］ 電子機械科 半導体工学科 土木科 材料技術科	［略］ 3 1 3 2	［略］			
岩手県立西和賀高等学校		普通科	6	［略］			
［略］							
岩手県立金ケ崎高等学校		普通科	4	［略］			

［略］				
岩手県立大東高等学校		普通科 ［略］	5 ［略］	［略］
岩手県立千♀高等学校		普通科 ［略］	9 ［略］	［略］
［略］				
岩手県立遠野緑峰高等学校		［略］ 情報処理科	［略］ 3	［略］
［略］				
岩手県立宮古高等学校		普通科	15	［略］
［略］				
岩手県立久慈翔北高等学校		電子機械科 工業科 建設環境科 総合学科	1 2 1 15	［略］
［略］				
岩手県立大野高等学校		普通科	3	［略］
岩手県立軽米高等学校		普通科	5	［略］
［略］				
岩手県立福岡高等学校		普通科	11	［略］

［略］				
岩手県立大東高等学校		普通科 ［略］	4 ［略］	［略］
岩手県立千♀高等学校		普通科 ［略］	8 ［略］	［略］
［略］				
岩手県立遠野緑峰高等学校		［略］ 情報処理科	［略］ 2	［略］
［略］				
岩手県立宮古高等学校		普通科	14	［略］
［略］				
岩手県立久慈翔北高等学校		工業科 総合学科	3 15	［略］
［略］				
岩手県立大野高等学校		普通科	2	［略］
岩手県立軽米高等学校		普通科	4	［略］
［略］				
岩手県立福岡高等学校		普通科	10	［略］

［略］ 備考１　［略］ ２　岩手県立南昌みらい高等学校の体育科並びに岩手県立久慈翔北高等学校の電子機械科及び建設環境科については、令和７年度以後の入学に係る生徒の募集を停止する。	［略］ 備考１　［略］ ２　岩手県立平舘高等学校の家政科学科、岩手県立黒沢尻工業高等学校の材料技術科、岩手県立遠野緑峰高等学校の情報処理科及び岩手県立大野高等学校の普通科については、令和９年度以後の入学に係る生徒の募集を停止する。
備考　改正部分は、下線の部分である。	

附　則

この規則は、令和９年４月１日から施行する。

令和８年10月21日提出

岩手県教育委員会教育長　佐　藤　一　男

理由

岩手県立学校設置条例の一部改正に伴い、県立高等学校の学科の設置及び廃止について所要の改正をするとともに、県立高等学校の学級数及び生徒の募集停止について定めようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第１　改正の趣旨

岩手県立学校設置条例の一部改正に伴い、県立高等学校の学科の設置及び廃止について所要の改正をするとともに、県立高等学校の学級数及び生徒の募集停止について定めようとするものである。

第２　規則案の内容

１　県立高等学校の学科の設置に伴い、次の学科を加えること。（別表第１関係）

学校名	区　分	課　程	学科名	学級数
岩手県立黒沢尻工業高等学校		全日制	半導体工学科	1

２　県立高等学校の学科の廃止に伴い、次の学科を削ること。（別表第１関係）

学校名	区　分	課　程	学科名	学級数
岩手県立南昌みらい高等学校		全日制	体育科	1
岩手県立久慈翔北高等学校		全日制	電子機械科	1
		全日制	建設環境科	1

３　県立高等学校の学級数を次のとおり改めること。（別表第１関係）

学校名	区　分	課　程	学科名	学級数	
				現行	改正後
岩手県立南昌みらい高等学校		全日制	普通科	26	24
岩手県立平舘高等学校		全日制	家政科学科	3	2
岩手県立北上翔南高等学校		全日制	総合学科	13	12
岩手県立黒沢尻工業高等学校		全日制	材料技術科	3	2
岩手県立西和賀高等学校		全日制	普通科	5	6
岩手県立金ケ崎高等学校		全日制	普通科	5	4
岩手県立大東高等学校		全日制	普通科	5	4
岩手県立千厩高等学校		全日制	普通科	9	8
岩手県立遠野緑峰高等学校		全日制	情報処理科	3	2
岩手県立宮古高等学校		全日制	普通科	15	14
岩手県立久慈翔北高等学校		全日制	工業科	2	3
岩手県立大野高等学校		全日制	普通科	3	2
岩手県立軽米高等学校		全日制	普通科	5	4
岩手県立福岡高等学校		全日制	普通科	11	10

４　募集停止について、所要の改正をすること。（別表第１関係）

第３　施行期日

この規則は、令和９年４月１日から施行すること。（附則関係）

【参考資料】
議案第 28 号関係

令 和 ９ 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

Ⅰ　久慈高校と大野高校の統合形態等について

久慈高校と大野高校の統合形態等については、次の表のとおりである。

項目	形態	説明・理由
統合形態	年次統合	・ 令和９年度及び 10 年度の２年間は、大野高校の現在校生はそのまま大野高校に在学し、大野高校の生徒として卒業する。 ・ 令和 11 年３月 31 日（令和 10 年度末）をもって大野高校を閉校し、久慈高校と統合する。 〈理由〉 ・ 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても年次統合の形態で実施したため。
校名・校歌・校章・制服等	久慈高校を継承	・ 大野高校が久慈高校の分校であった系譜を基に、統合後の校名等は、現行の「久慈高校」のものを継承する。 〈理由〉 ・ 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても、校名変更等はなかったため。

Ⅱ　令和９年度 県立高等学校の編制について

１　課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和９年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区分			募集学級数			募集定員		
			８年度	９年度	差	８年度	９年度	差
県立高等学校	全日制	普通科・理数科	118	115	▲３	4,720	4,600	▲120
		職業に関する学科	68	66	▲２	2,720	2,640	▲80
		総合学科	23	23	0	920	920	0
		小計	209	204	▲５	8,360	8,160	▲200
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小計	14	14	0	560	560	0
合計			223	218	▲５	8,920	8,720	▲200

２　地区別募集学級数増減

令和９年度の地区別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

地区	募集学級数 Ｒ８→Ｒ９	令和９年度募集学級数		学校名	令和８年度募集学科及び募集学級数	令和９年度募集学科及び募集学級数	令和９年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学科	増	減
盛岡	70→69	64	5	平舘	普通 1 家政科学 1	普通 1	家政科学		▲１
中部	42→41	41	0	遠野緑峰	生産技術 1 情報処理 1	生産技術 1	情報処理		▲１
				黒沢尻工業	機械 1 電気 1 電子 1 電子機械 1 土木 1 材料技術 1	機械 1 電気 1 電子 1 電子機械 1 半導体工学 1 土木 1	半導体工学 材料技術	1	▲１
県南	44→43	40	3	千厩	普通 3 生産技術 1 産業技術 1	普通 2 生産技術 1 産業技術 1	普通		▲１
沿岸南部	24→24	22	2	（該当なし）					
宮古	17→16	15	1	宮古（全日制）	普通 5	普通 4	普通		▲１
県北	26→25	22	3	大野	普通 1		普通		▲１
合計	223→218	204	14				普通 普通・理数 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	1	▲３ ▲１ ▲１ ▲１
							計	1	▲６

３　学科改編（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和９年度の学科改編の状況は、次のとおりである。

地区 （位置）	学 校 名 （課程）	８年度募集 学科及び 募集学級数	９年度募集 学科及び 募集学級数	理　由
中部 （北上市）	黒沢尻工業 （全日制）	機　械　1 電　気　1 電　子　1 電子機械　1 土　木　1 材料技術　1	機　械　1 電　気　1 電　子　1 電子機械　1 半導体工学　1 土　木　1	地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、学科改編を行うものである。 新たに新設する半導体工学科は、学校設定科目「半導体工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「半導体制御技術」を設置し、半導体の構造や製造技術、電子回路、デバイス関係について、専門性の高い知識・技術を身に付けられる学習内容とする。

４　学校再編

令和９年度の再編を計画した県立高等学校はない。

５　年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和７年度から募集を停止しており、令和８年度をもって令和６年度入学生が卒業する学科について、令和９年度に廃止しようとするものである。

地区 （位置）	学 校 名 （課程）	設置学科（学級数）			
		Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
盛岡 （矢巾町）	南昌みらい （全日制）	［旧・盛岡南高校］ 体　育（３）	**体　育（２）**	**体　育（１）**	
県北 （野田村）	久慈翔北 （全日制）	［旧・久慈工業高校］ 電子機械（３） 建設環境（３）	**電子機械（２）** 工　業（１） **建設環境（２）**	**電子機械（１）** 工　業（２） **建設環境（１）**	工　業（３）

Ⅲ　令和９年度 県立特別支援学校の編制について

令和９年度に、県立特別支援学校の課程及び学科の廃止はない。

令 和 ８ 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

Ⅰ　令和８年度 県立高等学校の編制について

１　課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和８年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区分			募集学級数			募集定員		
			７年度	８年度	差	７年度	８年度	差
県立高等学校	全日制	普通科・理数科	122	118	▲４	4,880	4,720	▲160
		職業に関する学科	68	68	0	2,720	2,720	0
		総合学科	23	23	0	920	920	0
		小計	213	209	▲４	8,520	8,360	▲160
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小計	14	14	0	560	560	0
合計			227	223	▲４	9,080	8,920	▲160

２　ブロック別募集学級数増減

令和８年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ﾌﾞﾛｯｸ	募集学級数 Ｒ７→Ｒ８	令和８年度募集学級数		学　校　名	令和７年度設置学科及び募集学級数	令和８年度設置学科及び募集学級数	令和８年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学　科	増	減
盛岡	７０→７０	６５	５	（該当なし）					
岩手中部	３６→３６	３６	０	（該当なし）					
胆江	２３→２２	２０	２	金ケ崎	普通　２	普通　１	普通		▲１
両磐	２３→２２	２１	１	大東	普通　２ 情報ビジネス　１	普通　１ 情報ビジネス　１	普通		▲１
気仙	１４→１４	１３	１	（該当なし）					
釜石・遠野	１５→１５	１４	１	（該当なし）					
宮古	１７→１７	１６	１	（該当なし）					
久慈	１５→１５	１３	２	（該当なし）					
二戸	１３→１１	１０	１	軽米	普通　２	普通　１	普通		▲１
				福岡	普通　４	普通　３	普通		▲１
合計	２２６ → ２２２	２０８	１４				普通 普通・理数 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制		▲４
							計	０	▲４

３　学科改編

令和８年度における学科改編はない。

４　学校再編

令和８年度における再編を計画した高等学校はない。

５　年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和６年度から募集を停止しており、令和７年度をもって令和５年度入学生が卒業する学科について、令和８年度に廃止しようとするものである。

地区 （位置）	学 校 名 （課程）	設置学科（学級数）			
		R5	R6	R7	R8
沿岸南部 （大槌）	大槌高校 （全日制）	普通科(6)	**普通科(4)** 地域探究科(2)	**普通科(2)** 地域探究科(4)	地域探究科(6)

Ⅱ　令和８年度 県立特別支援学校の編制について

１　令和８年度における設置を予定している県立特別支援学校の状況は、次の表のとおりとする。

学校名	区分	教育の 対象者	開設 学部	課程	学科	修業年限	理　由
二戸北星 支援学校	本校	知的障がい 肢体不自由	小学部			６年	特別支援学校未設置地区であった二戸地区に新たに設置しようとするものである。
			中学部			３年	
			高等部	全日制	普通	３年	
	奥中山校		小学部			６年	これまで盛岡みたけ支援学校の分校としていたが、地域特性を踏まえた学校運営を行うため、新設校の分校として設置しようとするものである。
			中学部			３年	

２　令和８年度における廃止を予定している県立特別支援学校の状況は、次の表のとおりとする。

学校名	区分	教育の対象者	開設学部	課程	学科	修業年限	理　由
盛岡みたけ支援学校	奥中山校	知的障がい肢体不自由	小学部			６年	これまで盛岡みたけ支援学校の分校としていたが、地域特性を踏まえた学校運営を行うため、新設校の分校として設置するために廃止しようとするものである。
			中学部			３年	

令 和 ７ 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

Ⅰ　令和７年度 県立高等学校の編制について

１　課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和７年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区分			募集学級数			募集定員		
			６年度	７年度	差	６年度	７年度	差
県立高等学校	全日制	普通科・理数科・体育科	124	122	▲２	4,960	4,880	▲80
		職業に関する学科	69	68	▲１	2,760	2,720	▲40
		総合学科	24	23	▲１	960	920	▲40
		小計	217	213	▲４	8,680	8,520	▲160
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小計	14	14	0	560	560	0
合計			231	227	▲４	9,240	9,080	▲160

２　ブロック別募集学級数増減

令和７年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ﾌﾞﾛｯｸ	募集学級数 Ｒ６→Ｒ７	令和7年度募集学級数		学　校　名	令和６年度設置学科及び募集学級数	令和７年度設置学科及び募集学級数	令和７年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学　科	増	減
盛岡	７３→７０	６５	5	盛岡南	普　通　４ 体　育　１		普　通 体　育		▲４ ▲１
				不来方	普　通　６		普　通		▲６
				南昌みらい		普　通　８	普　通	８	
岩手中部	３７→３７	３７	０	北上翔南	総　合　５	総　合　４	総　合		▲１
				西和賀	普　通　１	普　通　２	普　通	１	
胆江	２３→２３	２１	2	(該当なし)					
両磐	２３→２３	２２	1	(該当なし)					
気仙	１４→１４	１３	1	(該当なし)					
釜石・遠野	１５→１５	１４	1	(該当なし)					
宮古	１７→１７	１６	1	(該当なし)					
久慈	１６→１５	１３	2	久慈東	総　合　５		総　合		▲５
				久慈工業	電子機械　１ 建設環境　１		電子機械 建設環境		▲１ ▲１
				久慈翔北		工　業　１ 総　合　５	工　業 総　合	１ ５	
二戸	１３→１３	１２	1	(該当なし)					
合計	２３１ → ２２７	２１３	１４				普通 普通・理数 体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	９ １ ５	▲１０ ▲１ ▲２ ▲６
							計	１５	▲１９

３　学科改編

令和７年度における学科改編はない。

４　学校再編

新たな県立高等学校再編計画後期計画で、令和７年度の改編を計画した県立高校の状況は、次の表のとおりである。

ﾌﾞﾛｯｸ（位置）	学　校　名	現　　行	改編内容	改編の目的
盛岡（盛岡市及び矢巾町）※	南昌みらい高校	盛岡南高校 普　　通　4 体　　育　1 不来方高校 普　　通　6	【統合】 南昌みらい高校 普　　通　8	盛岡南高校、不来方高校を統合することにより、単位制や総合選択制を取り入れた教育課程の実践及びスケールメリットを生かした学校活動や部活動のより一層の活性化をし、盛岡ブロックにおける特色ある学習活動等に取り組む大規模校を整備するものである。
久慈（久慈市及び野田村）	久慈翔北高校	久慈東高校 総　　合　5 久慈工業高校 電子機械　1 建設環境　1	【統合】 久慈翔北高校 工　　業　1 総　　合　5	久慈東高校、久慈工業高校を統合することにより、工業の複数の学びの確保及び総合学科の多様な学びを維持し、久慈ブロックの将来を見据えた専門教育の拠点となる学校を整備するものである。

※南昌みらい高校の位置は矢巾町

５　年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和７年度における県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止はない。

Ⅱ　令和７年度 県立特別支援学校の編制について

令和７年度における県立特別支援学校の課程及び学科の変更はない。

議案第29号

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第２号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
（出願の特例等） 第４条　次の各号のいずれかに該当する者は、前条の規定にかかわらず、同条の規定により出願すべき高等学校以外の高等学校に出願することができる。 （１）　［略］ （２）　岩手県立南昌みらい高等学校の体育コース、体育学系、スポーツ科学学系、芸術学系若しくは外国語学系又は岩手県立花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系若しくは国際科学学系を履修しようとする者 （３）～（６）　［略］	（出願の特例等） 第４条　次の各号のいずれかに該当する者は、前条の規定にかかわらず、同条の規定により出願すべき高等学校以外の高等学校に出願することができる。 （１）　［略］ （２）　岩手県立南昌みらい高等学校のスポーツ科学学系、芸術学系若しくは外国語学系又は岩手県立花巻南高等学校のスポーツ健康科学学系若しくは国際科学学系を履修しようとする者 （３）～（６）　［略］
備考　改正部分は、下線の部分である。	

附　則

この規則は、令和９年４月１日から施行する。

令和８年10月21日提出

岩手県教育委員会教育長　佐　藤　一　男

理由

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第１　改正の趣旨

　岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正に伴い、所要の改正をするものである。

第２　規則案の内容

　岩手県立南昌みらい高等学校の体育コース及び体育学系の廃止に伴い、学区外の出願の特例に係る規定から、同コース及び学系を削ること。（第４条関係）

第３　施行期日

　この規則は、令和９年４月１日から施行すること。（附則関係）

【参考資料１】
議案第 29 号関係

岩手県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について

１　改正の趣旨

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部改正により、岩手県立南昌みらい高等学校の体育コース及び体育学系が廃止となることから、所要の改正をするものである。

２　改正の内容

「新たな県立高等学校再編計画」に基づき、盛岡南高校及び不来方高校を廃止し、令和７年度に南昌みらい高校を新たに設置した。南昌みらい高校の設置に当たっては、旧盛岡南高校２学科５学級（普通科及び体育科）、旧不来方高校１学科６学級（普通科）の学科を改編し、新たに１学科８学級（普通科）体制とした。１学科８学級体制は令和７年度入学生から適用し、旧盛岡南高校の在校生２学科５学級、旧不来方高校の在校生１学科６学級は統合以前のまま、南昌みらい高校に統合前の学科を設置して相当学年に編入することとし、当該在校生が卒業する令和８年度末をもって廃止することとしていた。今般、改編時の在校生が卒業し、体育コース及び体育学系を廃止することから、規定から削除すること。

３　施行期日

この規則は、令和９年４月１日から施行すること。

【参考資料２】
議案第 29 号関係

令 和 ９ 年 度

県立学校の編制について

岩 手 県 教 育 委 員 会

Ⅰ　久慈高校と大野高校の統合形態等について

久慈高校と大野高校の統合形態等については、次の表のとおりである。

項目	形態	説明・理由
統合形態	年次統合	・ 令和９年度及び 10 年度の２年間は、大野高校の現在校生はそのまま大野高校に在学し、大野高校の生徒として卒業する。 ・ 令和 11 年３月 31 日（令和 10 年度末）をもって大野高校を閉校し、久慈高校と統合する。 〈理由〉 ・ 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても年次統合の形態で実施したため。
校名・校歌・校章・制服等	久慈高校を継承	・ 大野高校が久慈高校の分校であった系譜を基に、統合後の校名等は、現行の「久慈高校」のものを継承する。 〈理由〉 ・ 統合検討会議における意見を踏まえたものであること。また、過去の類似した統合事例（花巻北・東和等）においても、校名変更等はなかったため。

Ⅱ　令和９年度 県立高等学校の編制について

１　課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和９年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区分			募集学級数			募集定員		
			８年度	９年度	差	８年度	９年度	差
県立高等学校	全日制	普通科・理数科	118	115	▲３	4,720	4,600	▲120
		職業に関する学科	68	66	▲２	2,720	2,640	▲80
		総合学科	23	23	0	920	920	0
		小計	209	204	▲５	8,360	8,160	▲200
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小計	14	14	0	560	560	0
合計			223	218	▲５	8,920	8,720	▲200

２　地区別募集学級数増減

令和９年度の地区別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

地区	募集学級数 Ｒ８→Ｒ９	令和９年度募集学級数		学校名	令和８年度募集学科及び募集学級数	令和９年度募集学科及び募集学級数	令和９年度募集学級数増減		
		全日制	定時制				学科	増	減
盛岡	70→69	64	5	平舘	普通 1 家政科学 1	普通 1	家政科学		▲１
中部	42→41	41	0	遠野緑峰	生産技術 1 情報処理 1	生産技術 1	情報処理		▲１
				黒沢尻工業	機械 1 電気 1 電子 1 電子機械 1 土木 1 材料技術 1	機械 1 電気 1 電子 1 電子機械 1 半導体工学 1 土木 1	半導体工学 材料技術	1	▲１
県南	44→43	40	3	千厩	普通 3 生産技術 1 産業技術 1	普通 2 生産技術 1 産業技術 1	普通		▲１
沿岸南部	24→24	22	2	（該当なし）					
宮古	17→16	15	1	宮古（全日制）	普通 5	普通 4	普通		▲１
県北	26→25	22	3	大野	普通 1		普通		▲１
合計	223→218	204	14				普通 普通・理数 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	1	▲３ ▲１ ▲１ ▲１
							計	1	▲６

３　学科改編（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和９年度の学科改編の状況は、次のとおりである。

地区 （位置）	学 校 名 （課程）	８年度募集 学科及び 募集学級数	９年度募集 学科及び 募集学級数	理　由
中部 （北上市）	黒沢尻工業 （全日制）	機　械　1 電　気　1 電　子　1 電子機械　1 土　木　1 材料技術　1	機　械　1 電　気　1 電　子　1 電子機械　1 半導体工学　1 土　木　1	地域振興の方向性や産業構造、中学生の志望動向、高校卒業後の進路状況等を見据え、学科改編を行うものである。 新たに新設する半導体工学科は、学校設定科目「半導体工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「半導体制御技術」を設置し、半導体の構造や製造技術、電子回路、デバイス関係について、専門性の高い知識・技術を身に付けられる学習内容とする。

４　学校再編

令和９年度の再編を計画した県立高等学校はない。

５　年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止（岩手県立学校設置条例該当事項）

令和７年度から募集を停止しており、令和８年度をもって令和６年度入学生が卒業する学科について、令和９年度に廃止しようとするものである。

地区 （位置）	学 校 名 （課程）	設置学科（学級数）			
		Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９
盛岡 （矢巾町）	南昌みらい （全日制）	［旧・盛岡南高校］ 体　育（３）	**体　育（２）**	**体　育（１）**	
県北 （野田村）	久慈翔北 （全日制）	［旧・久慈工業高校］ 電子機械（３） 建設環境（３）	**電子機械（２）** 工　業（１） **建設環境（２）**	**電子機械（１）** 工　業（２） **建設環境（１）**	工　業（３）

Ⅲ　令和９年度 県立特別支援学校の編制について

令和９年度に、県立特別支援学校の課程及び学科の廃止はない。

【参考資料３】 議案第 29 号関係	令 和 ６ 年 ３ 月 １５ 日 付 各市町村等あて学校教育室長通知資料

令和７年度県立高校の編制の検討状況について

岩手県教育委員会事務局
学校教育室高校改革担当

【趣旨】

- 「新たな県立高等学校再編計画」及び「新たな県立高等学校再編計画後期計画」（以下「高校再編計画」という。）に基づき、令和７年度に行うこととしている、久慈ブロック及び盛岡ブロックにおける学校統合について、その検討状況（統合新設校の校名や設置学科、及び募集定員等）をお知らせします。
- 前項の他に、高校再編計画に位置付けた令和７年度の学科改編や学級減はありません。
- 上記を含めた令和７年度に実施する県立高校の編制の全体については、令和６年の夏頃に公表します。

１　盛岡ブロックにおける学校統合の検討状況について

(1) 統合対象校の取扱いと統合新設校の校名

令和７年度に、**盛岡南高校と不来方高校を閉校のうえ統合**し、新たに**「南昌（なんしょう）みらい高校」**（仮称）を設置します。統合新設校の校名（学系の名称含む。）は、令和６年秋に正式に決定する予定です。

(2) 設置学科・学系及び募集定員

【現行】

学校名	学科名〔コース名〕	定員
盛岡南	普通	120
	普通〔体育〕	40
	体育	40

学校名	学科名〔学系名〕	定員
不来方	普通〔人文・理数〕	120
	普通〔芸術〕	40
	普通〔外国語〕	40
	普通〔体育〕	40

【令和７年度から】

学校名	学科名〔**学系名**〕	定員
南昌（なんしょう）みらい	**普通〔文理〕**	**160**
	普通〔芸術〕	**40**
	普通〔外国語〕	**40**
	普通〔スポーツ科学〕	**80**
		計 320
		（８学級）

※　募集学級数は、盛岡南高校５学級と不来方高校６学級の**合計 11 学級**を**３学級減じ、南昌みらい高校８学級**となります。

学校名	R5	R6
盛岡南	17 学級 (5･6･6)	16 学級 (5･5･6)
不来方	20 学級 (6･7･7)	19 学級 (6･6･7)

学校名	R7	R8	R9
南昌 みらい	30 学級 (8･11･11) ３学級減	27 学級 (8･8･11)	24 学級 (8･8･8)

注）括弧内の数字は各学年の学級数を表す。　例(5･6･6)⇒（１学年 5 学級・2 学年 6 学級・3 学年 6 学級）

(3) 学びの概要

ア　統合新設校は、**現行の不来方高校の校舎等を活用**します。

イ　**単位制**や**総合選択制**を取り入れながら特色ある教育課程（カリキュラム）を実践します。

ウ　次のような**カリキュラム・ポリシー**に基づき、教育活動を行います。

- 教育課程全般を通して**協働的な取組**を行い、学びに向かう力や人間性を養います。
- 各学系の**専門性に応じた幅広い科目を設置**し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に向けた学びを行います。
- **主体的、対話的な学びを基盤とした探究活動**を展開し、**地域や大学、研究機関との連携学習**を通して、学びの深化を図る取組を行います。

(4) その他

ア　**令和５、６年度の統合対象校入学生は、令和７年度から統合新設校の生徒となります。**（原則として、入学時の教育課程は卒業まで保障します。）

イ　原則として**令和５年度に両校に設置している部活動を**令和７年度は**維持**します。

ウ　**校歌、校章、学校制服を新たに作成**します。

エ　現行の**不来方高校の校舎の大規模な改修を実施**するとともに、矢巾町との共創により、**体育館を新築（令和８年４月完成予定）**します。

２　久慈ブロックにおける学校統合の検討状況について

(1) 統合対象校の取扱いと統合新設校の校名

令和７年度に、**久慈東高校と久慈工業高校を閉校のうえ統合**し、新たに**「久慈翔北（しょうほく）高校」**（仮称）を設置します。統合新設校の校名（学科、系列の名称含む。）は、令和６年秋に正式に決定する予定です。

(2) 設置学科及び募集定員

【現行】

学校名	学科名	定員
久慈東	総　合	200

学校名	学科名	定員
久慈工業	電子機械	40
	建設環境	40

【令和７年度から】

学校名	学科名	定員
久慈翔北（しょうほく）	**工　業**	40
	総　合	200
		計 240
		（６学級）

※　募集学級数は、久慈東高校５学級と久慈工業高校２学級の**合計７学級**を**１学級減じ、久慈翔北高校６学級**となります。

学校名	R5	R6
久慈東	15 学級 (5･5･5)	15 学級 (5･5･5)
久慈工業	６学級 (2･2･2)	６学級 (2･2･2)

学校名	R7	R8	R9
久慈翔北	20 学級 (6･7･7) １学級減	19 学級 (6･6･7)	18 学級 (6･6･6)

注）括弧内の数字は各学年の学級数を表す。 例(6･7･7)⇒（１学年 6 学級・2 学年 7 学級・3 学年 7 学級）

(3) 学びの概要

ア　**両校の校舎等を活用**する「**校舎制**」を導入します。

イ　**工業科は、コース（機械コース、建設コース）**により、**複数の工業の学びを確保**します。

ウ　**総合学科は、現行の久慈東高校の系列（人文科学、自然科学、環境緑化、情報ビジネス、海洋科学、食物、介護福祉）を維持**します。

エ　次のような**カリキュラム・ポリシー**に基づき、教育活動を行います。

・確かな学力を身に付けることを目指し、**主体的・対話的で深い学び**により、基礎学力の定着に取り組みます。

・各系列や学科において、**地域と協働した実践的な学び**を行います。

・**系列や学科の特徴を踏まえた専門的な学び**と**多様な選択科目**により、それぞれの将来の進路に合わせた学びを行います。

・**地域の産業振興に取り組む機関・団体等との連携による学習**を通して、**伝統産業や地域産業を理解する取組**を行います。

・**地域の自治体や大学等との連携による学習**を通して、**共通科目の学習の深化**を図る取組を行います。

・**インターンシップや企業見学**、各系列及び学科の**課題研究の成果発表**等のキャリア教育を通じて、キャリア発達を促す取組を行います。

(4) その他

ア　**令和５、６年度の統合対象校入学生は、令和７年度から統合新設校の生徒となります。**（原則として、入学時の教育課程は卒業まで保障します。）

イ　**令和５年度に両校に設置され、活動している部を継承**し、**統合後も生徒が継続して部活動に取り組める環境を**令和７年度は**維持**します。

ウ　**校歌、校章、制服を新たに作成**します。

エ　**制服**については、**上着は紺色**を基本とし、**ブレザー型**とする予定です。

【参考】

後期計画期間（令和３年度～令和７年度）中におけるプログラム総括表

年度 / 設置タイプ等	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
専門高校					※１ 【R7 以降】 水沢工業 一関工業
総合学科・専門学科併置高校				福岡工業 一　戸	※２ 久 慈 東 久慈工業
普通高校					盛 岡 南 不 来 方
学級減		岩 谷 堂※３	盛 岡 南 不 来 方 沼 宮 内※３ 紫波総合※３ 遠　野※３	前　沢※３	
学 校 数※４ （全日制）	62	62	62	61	58
学 級 数※４ （全日制）	224	223	218	217	212

※１　後期計画期間中（令和３～令和７年度）に設置場所や統合時期、教育内容等の検討を進めることとしている。
※２　前期計画における統合を延期していたものであり、令和７年度を目途に統合することとしている。
※３　「岩手県立高等学校の管理運営に関する規則」により学級減を実施した学校。
※４　令和７年度以降に位置付けている統合を含む。

議案第30号

岩手県教育支援委員会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県教育支援委員会委員の任命及び解任をすることについて、議決を求める。

1　任命（令和８年11月１日付）

役　職　等	氏　　名
公益財団法人岩手県看護協会　常務理事	中　田　留美子
盛岡市立好摩幼稚園　園長	後　藤　敏　信
盛岡市立渋民小学校　校長	千　葉　康　祐
盛岡市立厨川中学校　校長	三　浦　　仁
岩手大学教育学部附属特別支援学校　副校長	鎌　田　和　茂
岩手県福祉総合相談センター　心理支援課長	佐　藤　広　江
岩手県特別支援学校ＰＴＡ連合会　会長	佐々木　博　考

2　解任（令和８年10月31日付）

氏　　名	任　命　年　月　日	解　任　理　由
冨　山　　香	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
山　本　ゆかり	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
吉　田　武　雄	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
照　井　英　輝	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
藤　原　有　紀	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
中　村　容　子	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため
齋　藤　名　月	令和７年11月１日	辞任の申し出があったため

令和８年10月21日提出

岩手県教育委員会教育長　佐　藤　一　男

理由

岩手県教育支援委員会委員の任命及び解任をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県教育支援委員会　委員　新旧対照表（案）

委員任期：令和７年 11 月１日～令和９年 10 月 31 日

No.	分野	推薦団体	現委員（就任時）　※年齢は令和７年 11 月　１日時点 ※年数は令和８年 10 月 31 日時点						補欠委員（案）　※年齢は令和８年 11 月　１日時点					
			役　職　等	氏　名	年齢	性別	市町村	年　数	役　職　等	氏　名	年齢	性別	市町村	年　数
1	医　師	**岩手医科大学**	障がい児者医療学講座　特命教授	**赤坂　真奈美**（あかさか　まなみ）	56	女	盛岡市	１年０月						
2			耳鼻咽喉科頭頸部外科　講師	小林　有美子（こばやし　ゆみこ）	51	女	盛岡市	１年０月						
3		岩手県医師会	杜のこどもｸﾘﾆｯｸ小児科医師	金濱　誠己（かねはま　せいき）	65	男	盛岡市	１年０月						
4		岩手県立中央病院	眼科医長	佐々木　克哉（ささき　かつや）	60	男	盛岡市	１年０月						
5	学　識経験者	**公益財団法人岩手県看護協会**	**常務理事**	**冨山　香**（とみやま　かおり）	62	女	盛岡市	１年０月	**常務理事**	**中田　留美子**（なかた　るみこ）	61	女	盛岡市	新
6		岩手大学	教育学部　準教授	武部　綾子（たけべ　あやこ）	45	女	盛岡市	１年０月						
7	関　係教育機関	**岩手県国公立幼稚園・こども園協議会　事務局長**	**北上市立黒沢尻幼稚園　園長**	**山本　ゆかり**（やまもと）	57	女	北上市	１年０月	**盛岡市好摩幼稚園園長**	**後藤　敏信**（ごとう　としのぶ）	63	男	盛岡市	新
8		**岩手県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協議会**	**盛岡市立城北小学校校長**	**吉田　武雄**（よしだ　たけお）	56	男	滝沢市	１年０月	**盛岡市立渋民小学校校長**	**千葉　康祐**（ちば　こうすけ）	56	男	盛岡市	新
9			**盛岡市立厨川中学校校長**	**照井　英輝**（てるい　ひでき）	60	男	盛岡市	１年０月	**盛岡市立厨川中学校校長**	**三浦　仁**（みうら　ひとし）	59	男	盛岡市	新
10		**岩手大学**	**教育学部附属特別支援学校　副校長**	**藤原　有紀**（ふじわら　ゆき）	55	女	滝沢市	１年０月	**教育学部附属特別支援学校　副校長**	**鎌田　和茂**（かまだ　かずしげ）	53	男	盛岡市	新
11	関　係行政機関	障がい保健福祉課	こころの支援・療育担当課長	鈴木　あや子（すずき　あやこ）	46	女	盛岡市	１年０月						
12		**岩手県福祉総合相談ｾﾝﾀｰ**	**心理支援課長**	**中村　容子**（なかむら　ようこ）	54	女	花巻市	１年０月	**心理支援課長**	**佐藤　広江**（さとう　ひろえ）		女	盛岡市	新
13	児童生徒親権者等	**岩手県特別支援学校 PTA 連合会**	**会長**	**齋藤　名月**（さいとう　なつき）	51	女	奥州市	１年０月	**会長**	**佐々木　博考**（ささき　ひろたか）	48	男	滝沢市	新
14		日本発達障害ﾈｯﾄﾜｰｸいわて	運営委員	阿部　圭子（あべ　けいこ）	54	女	盛岡市	１年０月						

【審議会等の設置・運営に関する指針への対応状況】

	チェック項目	現　行　委　員	対応状況	補欠委員任命後	対応状況
1	委員の人数【20人以内（条例の規定）】	14人	○	14人	○
2	男女委員登用率【40%未満にならないこと】	男28.6%（4）：女71.4%（10）	○	男50.0%（７）：女50.0%（７）	○
3	若手委員（50歳未満）【25%以上目標】	14.2%（2/14）※平均55.1歳	×	23.1%（3/13）※平均55歳	×
4	在任期間８年超	なし	○	なし	○

参考資料

【根拠法令】

岩手県附属機関条例（令和５年岩手県条例第４号）

（趣旨）

第１条　この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の４第３項及び第 202 条の３第１項の規定により、**執行機関の附属機関(法律又は他の条例の規定に基づき設置されるものを除く。)の設置並びにその組織及び運営に関し必要な事項を定める**ものとする。

（設置及び所掌）

第２条　別表第１から別表第 10 までの**所掌事項の欄に掲げる事項について審査、審議又は調査等を行わせるため、執行機関の附属機関として、これらの表の名称の欄に掲げる機関を置く。**

２～４［略］

（組織）

第３条　別表第１から別表第 11 までの名称の欄に掲げる附属機関(以下「審議会等」という。)は、**これらの表の委員の人数に掲げる人数以内の委員をもって組織し、委員は、これらの表の委員の構成の欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命する。**

２　審議会等の**委員の任期は、別表第１から別表第 11 までの任期の欄に掲げるとおり**とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

別表第 10（第２条、第３条関係）

教育関係附属機関

名称	所掌事項	委員の人　数	委員の構成	任期
２　岩手県教育支援委員会	教育委員会の諮問に応じ教育上特別な支援を必要とする児童、生徒等(以下この項において「児童生徒等」という。)の就学及び当該児童生徒等に対する支援の内容等に関する事項について調査審議し、並びに当該事項について教育委員会に意見を述べること。	20 人	（１）　医師 （２）　学識経験者 （３）　関係教育機関の職員 （４）　関係行政機関の職員 （５）　児童生徒等の親権者又は未成年後見人を代表する者	２年

議案第31号

教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

次のとおり教育表彰の受賞者を決定することについて、議決を求める。

事績顕著者

1　学校教育分野(19人、２団体)

（1）　学校教育

多年にわたり優れた学校教育活動に取り組み、教育の振興に顕著な成果を挙げた。

ア　花巻市立八重畑小学校（はなまきしりつやえはたしょうがっこう）

（2）　学校保健

ア　学校医

多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

(ア)　渡邉（わたなべ）　聡哉（としや）
(イ)　橋本（はしもと）　貴美子（ふみこ）
(ウ)　石川（いしかわ）　浩（ゆたか）
(エ)　菊池（きくち）　俊彦（としひこ）
(オ)　関谷（せきや）　敏彦（としひこ）
(カ)　菊池（きくち）　宰（つかさ）
(キ)　宍戸（ししど）　潔（きよし）
(ク)　川原田（かわらた）　隆司（りゅうじ）
(ケ)　笠月（かさつき）　瑞子（たまこ）
(コ)　菅原（すがわら）　光宏（みつひろ）
(サ)　及川（おいかわ）　尚（たかし）

イ　学校歯科医

多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

（ア）　照井（てるい）　敏彦（としひこ）

（イ）　中里（なかさと）　登紀子（ときこ）

（ウ）　大黒（だいこく）　英貴（ひでき）

（エ）　中川（なかがわ）　善浩（よしひろ）

（オ）　國香（くにか）　智彦（ともひこ）

ウ　学校薬剤師

多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

（ア）　武政（たけまさ）　美紀子（みきこ）

（イ）　坂本（さかもと）　秀樹（ひでき）

（ウ）　新渕（にいぶち）　純司（じゅんじ）

エ　学校保健安全教育

多年にわたり優れた保健指導等に取り組み、教育の振興に顕著な成果を挙げた。

（ア）　二戸市立二戸西小学校（にのへしりつにのへにししょうがっこう）

2　社会教育分野（１人、２団体）

（1）　社会教育活動の指導者

多年にわたり社会教育行政や生涯学習の推進に尽力し、社会教育の振興に多大の貢献をした。

ア　奥田（おくた）　耕一（こういち）

（2） 社会教育団体

多年にわたり優れた活動を実践し、社会教育の振興に多大の貢献をした。

ア　奥州市立胆沢中学校ＰＴＡ

イ　岩手県立大槌高等学校ＰＴＡ

3　教育行政分野（８人）

多年にわたり教育行政の推進に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。

（1） 新妻　二男

（2） 佐藤　嘉彦

（3） 髙橋　勝

（4） 井上　美津男

（5） 中六角　保広

（6） 菊池　崇

（7） 菊池　和子

（8） 小野寺　恵美

令和８年 10 月 21 日提出

岩手県教育委員会教育長　佐　藤　　一　男

理由

教育表彰として渡邉聡哉ほか 27 人及び花巻市立八重畑小学校ほか３団体を表彰しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

資料

議案第 31 号　教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて

1　学校教育分野（19 人、２団体）

⑴　学校教育〔１団体〕

団　体　名	活動歴	功　　績　　の　　内　　容
花巻市立 八重畑小学校	52 年	【受賞歴】 平成８年　財団法人「日本善行会」表彰 平成 15 年　青少年健全育成県民会議表彰 同校は、昭和 49 年から今日に至るまで、地域の文化財としての伝承活動である「十日市神楽」の継承・発展に寄与している。また、現在は芸能クラブとしてではなく、八重畑小学校の特色ある学校づくりの一環として、地域の指導者のもと伝承活動に取り組んでおり、児童の健全育成とふるさと意識の醸成に繋がっている。

⑵　保健安全指導（学校医等）〔19 人〕

ア　学校医〔11 人〕	イ　学校歯科医〔５人〕	ウ　学校薬剤師［３人］
多年にわたり学校医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。	多年にわたり学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。	多年にわたり学校薬剤師として児童生徒の保健衛生の向上に尽力し、教育の振興に多大の貢献をした。
①　渡　邉　聡　哉（66 歳）盛岡市	①　照　井　敏　彦（72 歳）盛岡市	①　武　政　美紀子（69 歳）花巻市
②　橋　本　貴美子（65 歳）盛岡市	②　中　里　登紀子（66 歳）盛岡市	②　坂　本　秀　樹（53 歳）花巻市
③　石　川　　浩（71 歳）盛岡市	③　大　黒　英　貴（65 歳）盛岡市	③　新　渕　純　司（67 歳）久慈市
④　菊　池　俊　彦（65 歳）遠野市	④　中　川　善　浩（61 歳）一関市	
⑤　関　谷　敏　彦（72 歳）奥州市	⑤　國　香　智　彦（59 歳）二戸市	
⑥　菊　池　　宰（64 歳）一関市		
⑦　宍　戸　　潔（70 歳）一関市		
⑧　川原田　隆　司（73 歳）宮古市		
⑨　笠　月　瑞　子（60 歳）洋野町		
⑩　菅　原　光　宏（65 歳）二戸市		
⑪　及　川　　尚（70 歳）奥州市		

⑶　学校保健安全教育〔１団体〕

団　体　名	活動歴	功　　績　　の　　内　　容
二戸市立 二戸西小学校	28 年	【受賞歴】 令和４年及び令和５年　岩手県学校歯科保健優良校 令和７年度　　全国健康づくり推進学校表彰最優秀校 同校では、普段の生活を振り返る「生活リズム点検」や「朝ごはん日記」をはじめ、校庭のトラックを５分間走る「業間マラソン」の実施等、児童一人ひとりが健康への意識を高められるよう、一つ一つの取組に工夫を凝らして取り組んでいる。 また、近隣中学校のテスト期間に合わせた「小中合同メディアコントロール週間」や親子が一体となってネット依存について学ぶ「親子メディア学習会」を開催するなど、学校内での取組にとどまらず家庭や近隣校とともに組織的な取組を展開している。

２　社会教育分野（１名、２団体）

⑴　社会教育活動の指導者〔１人〕

氏　　名	活動歴	功　　績　　の　　内　　容
奥田　耕一 （78 歳）	60 年	【主な経歴】日本ボーイスカウト岩手連盟 副理事長（現在は副連盟長） 平成７年からは岩手連盟理事、平成 18 年からは岩手連盟副理事長として、スカウト育成や県内各団の組織の拡充・充実に尽力した。また、同年には団委員長として団内の円滑な運営に努め、さらに東日本大震災津波時には、発災から２か月後に活動を再開し、被災した子どもたちに遊び場を提供するイベント等を開催するなど、地域に根ざした活動を展開した。

⑵　模範団体（ＰＴＡ団体）〔２団体〕

団　体　名	活動歴	功　　績　　の　　内　　容
奥州市立 胆沢中学校 ＰＴＡ	10年	【受賞歴】令和７年　一般社団法人東北ブロックＰＴＡ協議会会長表彰 地域と連携した活動を多岐にわたり実施しており、地域住民と協力した資源回収や伝統芸能である焼石太鼓の継承活動に長年取り組んでいる。令和６年度からは、多くの保護者が参加しやすく生徒たちの課題等に対応できるよう学年委員会を設置するなど体制の見直しを実施し、各学年委員会を中心に講演会等の取組を展開し、現在では、高い参加率を維持している。
岩手県立 大槌高等学校ＰＴＡ	14年	【受賞歴】令和７年度　全国高等学校ＰＴＡ連合会会長表彰 クラスマッチ（体育祭）や大高祭（文化祭）での母親委員と有志の保護者による、地元で獲れた食材を使った食事の振る舞いや、交通安全委員や教職員と合同で朝の交通安全運動を実施した。また、ＰＴＡ研修会ではハーバリウム作り体験を実施し、作成品を文化祭へ展示するなど、学校行事や生徒の日常と結びついた活動に積極的に取り組んでいる。

３　教育行政分野（８名）

⑴　新　妻　二　男（75歳）　前　岩手県教育委員会教育委員
⑵　佐　藤　嘉　彦（71歳）　　雫石町教育委員会教育長
⑶　髙　橋　　勝（68歳）　　奥州市教育委員会教育長
⑷　井　上　美津男（73歳）　　滝沢市教育委員会教育委員
⑸　中六角　保　広（59歳）　　葛巻町教育委員会教育委員
⑹　菊　池　　崇（57歳）　　遠野市教育委員会教育委員
⑺　菊　池　和　子（70歳）　　遠野市教育委員会教育委員
⑻　小野寺　恵　美（60歳）　前　山田町教育委員会教育委員

議案第32号

令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて

次のとおり令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針を定めることについて、議決を求める。

令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針

東日本大震災津波からの教育の復興に向けた取組を推進するとともに、「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」の実現等に向けて、「いわて県民計画（2019～2028）」及び「岩手県教育振興計画（2024～2028）」に掲げる主要施策の積極的な推進と的確な対応を行うため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。

また、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう再発防止「岩手モデル」の取組を推進するとともに、社会全体のデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の加速化などの学校を取り巻く環境の変化にも対応しながら、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、必要な環境整備や業務量の適切な管理、健康確保等の取組を強力に進めていく。その際、学校における業務改善の推進とそれらの取組の支援、管理職のリーダーシップの発揮によるマネジメント機能の強化、組織的な取組による教職員の服務規律の確保及び公務員倫理の保持の徹底、学校が心理や福祉等の専門スタッフと連携し、組織として教育活動に取り組む「チーム学校」体制の整備・推進の観点にも配慮していくものとする。

１　東日本大震災津波からの教育の復興の推進

東日本大震災津波からの教育の復興に向け、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための人事配置に努める。

２　学校教育の充実の推進

確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、共に学び、共に育つ特別支援教育、いじめ問題への確かな対応と不登校対策等、学びの基盤づくりを着実に推進するための人事配置に努める。特に、多様な学びの場の充実や地域産業を支える人材育成などの課題に的確に対応するよう配慮する。

３　社会教育・家庭教育の充実の推進

学校と家庭・地域との協働、子育て支援や家庭教育支援の充実、生涯にわたり学び続ける環境づくり、次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承を着実に推進するための人事配置に努める。

４　管理職の役割の重視

学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。

（１）　管理職に相応しい人格、識見を重視するとともに、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し、年齢や性別、経験年数にとらわれることなく登用する。

（２） 学校における更なる女性活躍を推進するため、女性教職員が管理職を積極的に目指すことができる環境づくりや人材育成を進める。

（３） 管理職として培った知識・経験を有効に活用するため、小中学校において、校長職を対象に、61歳以降の特例任用を行う。

（４） 管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。

５　組織能力及び個々の教職員のモチベーションの向上に向けた人事配置

（１） 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、持病、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努める。

（２） 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。その際、職員の定年年齢の引上げを踏まえ、その知識・経験の活用や承継による組織能力の向上を図るとともに、全ての教職員が働きやすい職場環境づくりを進める。

　また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の充実に努める。

（３） 主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。

（４） 小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、「事務長」の職については共同実施組織の規模等を総合的に考慮しながら配置する。

（５） 事務局と学校との異動、校種間での異動、職種にとらわれない柔軟な人事配置を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーション等を考慮し、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。

６　その他

職員の定年年齢の段階的引上げ期間中であることを踏まえ、雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。

令和８年10月21日提出

岩手県教育委員会教育長　佐　藤　一　男

理由

令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針を定めようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県教育委員会定期人事異動方針新旧対照表

令和８年度	令和９年度
令和８年度岩手県教育委員会定期人事異動方針 東日本大震災津波からの教育の復興に向けた取組を推進するとともに、「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」の実現等に向けて、「いわて県民計画（2019～2028）」及び「岩手県教育振興計画（2024～2028）」に掲げる主要施策の積極的な推進と的確な対応を行うため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。 また、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう再発防止「岩手モデル」の取組を推進するとともに、社会全体のデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の加速化などの学校を取り巻く環境の変化にも対応しながら、「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）」に基づき、必要な環境整備や健康確保等の取組を強力に進めていく。その際、学校における業務改善の推進とそれらの取組の支援、管理職のリーダーシップの発揮によるマネジメント機能の強化、教職員の服務規律の確保及び公務員倫理の保持の徹底、学校が心理や福祉等の専門スタッフと連携し、組織として教育活動に取り組む「チーム学校」体制の整備・推進の観点にも配慮していくものとする。 １　東日本大震災津波からの教育の復興の推進 東日本大震災津波からの教育の復興に向け、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための人事配置に努める。 ２　学校教育の充実の推進 確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、共に学び、共に育つ特別支援教育、いじめ問題への確かな対応と不登校対策等、学びの基盤づくりを着実に推進するための人事配置に努める。 ３　社会教育・家庭教育の充実の推進	令和９年度岩手県教育委員会定期人事異動方針 東日本大震災津波からの教育の復興に向けた取組を推進するとともに、「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」の実現等に向けて、「いわて県民計画（2019～2028）」及び「岩手県教育振興計画（2024～2028）」に掲げる主要施策の積極的な推進と的確な対応を行うため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。 また、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう再発防止「岩手モデル」の取組を推進するとともに、社会全体のデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の加速化などの学校を取り巻く環境の変化にも対応しながら、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、必要な環境整備や業務量の適切な管理、健康確保等の取組を強力に進めていく。その際、学校における業務改善の推進とそれらの取組の支援、管理職のリーダーシップの発揮によるマネジメント機能の強化、組織的な取組による教職員の服務規律の確保及び公務員倫理の保持の徹底、学校が心理や福祉等の専門スタッフと連携し、組織として教育活動に取り組む「チーム学校」体制の整備・推進の観点にも配慮していくものとする。 １　東日本大震災津波からの教育の復興の推進 東日本大震災津波からの教育の復興に向け、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための人事配置に努める。 ２　学校教育の充実の推進 確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、共に学び、共に育つ特別支援教育、いじめ問題への確かな対応と不登校対策等、学びの基盤づくりを着実に推進するための人事配置に努める。特に、多様な学びの場の充実や地域産業を支える人材育成などの課題に的確に対応するよう配慮する。 ３　社会教育・家庭教育の充実の推進

学校と家庭・地域との協働、子育て支援や家庭教育支援の充実、生涯にわたり学び続ける環境づくり、次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承を着実に推進するための人事配置に努める。	学校と家庭・地域との協働、子育て支援や家庭教育支援の充実、生涯にわたり学び続ける環境づくり、次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承を着実に推進するための人事配置に努める。
4　管理職の役割の重視	4　管理職の役割の重視
学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。	学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。
(1)　管理職に相応しい人格、識見を重視するとともに、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し、年齢や性別、経験年数にとらわれることなく登用する。	(1)　管理職に相応しい人格、識見を重視するとともに、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し、年齢や性別、経験年数にとらわれることなく登用する。
(2)　学校における更なる女性活躍を推進するため、女性教職員が管理職を積極的に目指すことができる環境づくりや人材育成を進める。	(2)　学校における更なる女性活躍を推進するため、女性教職員が管理職を積極的に目指すことができる環境づくりや人材育成を進める。
	(3)　管理職として培った知識・経験を有効に活用するため、小中学校において、校長職を対象に、61歳以降の特例任用を行う。
(3)　管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。	(4)　管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。
5　組織能力及び個々の教職員のモチベーションの向上に向けた人事配置	5　組織能力及び個々の教職員のモチベーションの向上に向けた人事配置
(1)　所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、持病、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努める。	(1)　所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、持病、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努める。
(2)　各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。その際、職員の定年年齢の引上げを踏まえ、その知識・経験の活用や承継による組織能力の向上を図るとともに、全ての教職員が働きやすい職場環境づくりを進める。 　また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の充実に努める。	(2)　各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。その際、職員の定年年齢の引上げを踏まえ、その知識・経験の活用や承継による組織能力の向上を図るとともに、全ての教職員が働きやすい職場環境づくりを進める。 　また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の充実に努める。
(3)　主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら	(3)　主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら

配置する。 (4)　小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、「事務長」の職については共同実施組織の規模等を総合的に考慮しながら配置する。 (5)　事務局と学校との異動、校種間での異動、職種にとらわれない柔軟な人事配置を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーション等を考慮し、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。 6　その他 公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。	配置する。 (4)　小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、「事務長」の職については共同実施組織の規模等を総合的に考慮しながら配置する。 (5)　事務局と学校との異動、校種間での異動、職種にとらわれない柔軟な人事配置を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーション等を考慮し、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。 6　その他 職員の定年年齢の段階的引上げ期間中であることを踏まえ、雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。
変更理由	1　業務量管理・健康確保措置実施計画の策定に伴い、業務量の適切な管理を強力に進めていく旨を明記するとともに、併せて所要の整備をすること。(前文関係) 2　組織的な取組による教職員の服務規律の確保及び公務員倫理の保持の徹底の観点に配慮する旨を明記すること。(前文関係) 3　第３期政策推進プランの策定を見据え、重点的に取り組む課題について明記すること。(２関係) 4　小中学校の校長職を対象とした特例任用を行うことを明記すること。(４(３)関係) 5　公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の段階的引上げ期間が終了したことに伴う所要の文言整理を行うこと。(６関係)